

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年3月19日（水）

2 確認箇所

2号機タービン建屋

3 確認項目

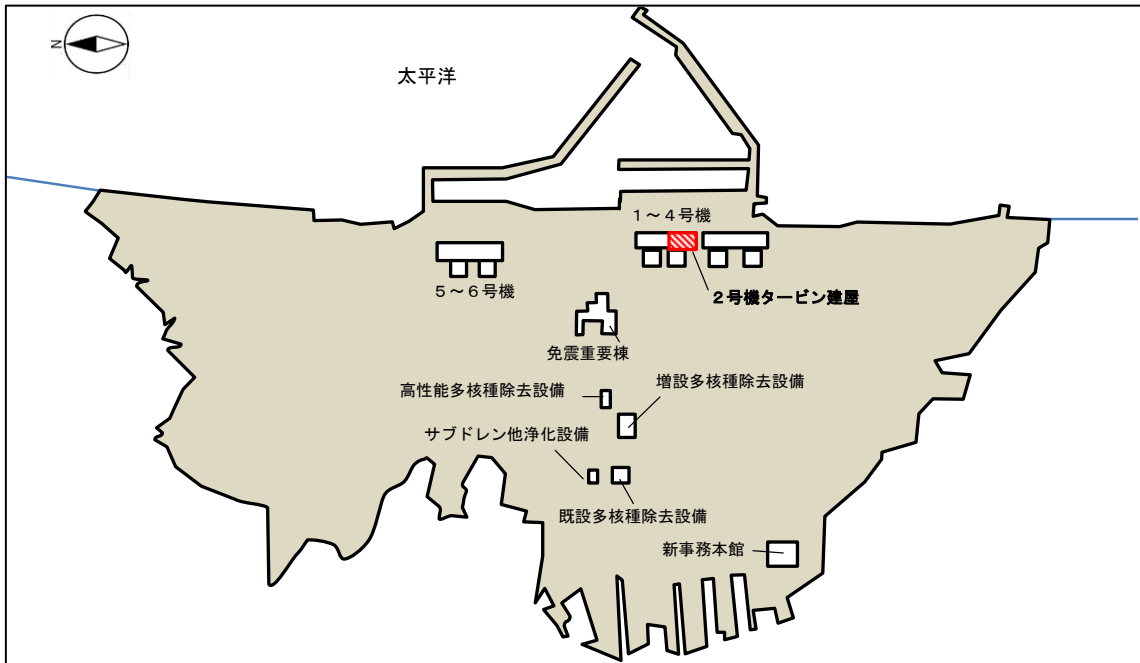
2号機原子炉格納容器（PCV）ガス管理設備の現況

4 確認結果の概要

原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内は、窒素封入設備により窒素ガスで満たされ、さらに周囲から空気が内部に流入しないように正圧（大気圧より高い圧力）に保たれている。また、PCVガス管理設備により、放射性ダストを除去するフィルターを通して排気するとともに、PCV内部の水素濃度、放射性希ガス濃度等を常時監視している。

本日は、2号機PCVガス管理設備の現況を確認した。（前回確認日：[令和5年12月5日](#)）

- ・2号機PCVガス管理設備の一部（PCVガス管理設備現場制御盤、ダストモニタ、希ガス放射線モニタ、ダストモニタ吸引ポンプ等）は、塩害対策のため、ハウス内に設置されていた。また、当該ハウスには塩害対策ハウス用送風機が設置されていた。（写真1）
- ・塩害対策ハウス内には重要設備が設置されていることから、ハウス入口は施錠され、不用意な立ち入りができないよう管理されていた。（写真2）
- ・PCVガス管理設備には、PCVから抽気するための排気ファンが2系統（A・B系統）設置されており、現場確認時は、B系が稼働していた。ファンには、重要設備であることを示す表示が貼付されていた。確認した範囲では、異常な振動や異音などの異常は認められなかった。（写真3）
- ・放射性物質を除去するためのフィルターユニットが設置されており、被ばく低減対策として遮へいシートで覆われていた。付近の放射線量は0.01mSv/h未満であった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
塩害対策ハウスの設置状況
※ハウス内に重要設備が設置されている



(写真1-2)
塩害対策ハウス用送風機の設置状況



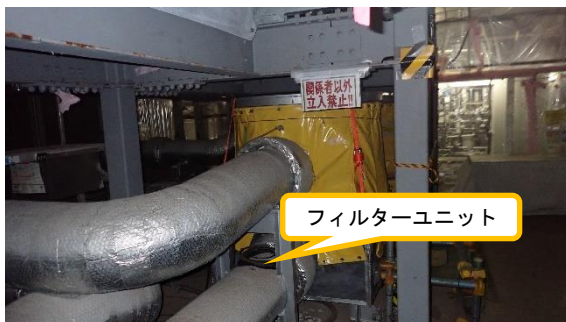
(写真 2)
塩害対策ハウスの施錠状況



(写真 3-1)
排気ファンの設置状況①



(写真 3-2)
排気ファンの設置状況②



(写真 4)
フィルターユニットの設置状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。